



2025年3月4日

各 位

## (経過開示)Meme Factoryの開発進捗およびBaaS支援第1弾「少林文化DAO」に関するお知らせ

当社は、2025年2月7日付「[Metabit. SDN. BHD. との戦略的開発パートナーシップ提携に関するお知らせ](#)」にて、ブロックチェーン開発企業のMetabit. SDN. BHD. (以下、「Metabit」といいます。)との戦略的開発契約を発表いたしました。

その後の進捗として、「Meme Factory」の開発が順調に進んでおり、近日中のローンチを予定しております。また、当社のBaaS (Blockchain as a Service) 戦略の第一弾プロジェクトとして、日本少林文化センターおよび少林寺コミュニティと連携し、「少林文化DAO」の形成支援およびトークノミクス設計を実施することを決定いたしました。

本件は、当社のWEB3.0コングロマリット戦略の一環として、トークンエコノミーの構築を加速させ、持続的な成長を実現することを目的としております。

### 1. Meme Factoryの開発進捗

当社が開発を進めている「Meme Factory」は、トークンの発行から流通までをスムーズにできるプラットフォームとして設計されており、近日中にローンチ予定です。

本プロダクトは、従来のブロックチェーン開発に関する技術的ハードルを大幅に引き下げ、WEB3市場におけるエコシステム拡大を促進することを目的としています。

#### 【Meme Factoryの特徴】

**ワンクリックでミームコイン発行** : 技術知識がなくても、シンプルなUI/UXを通じて、独自のミームコインを発行可能

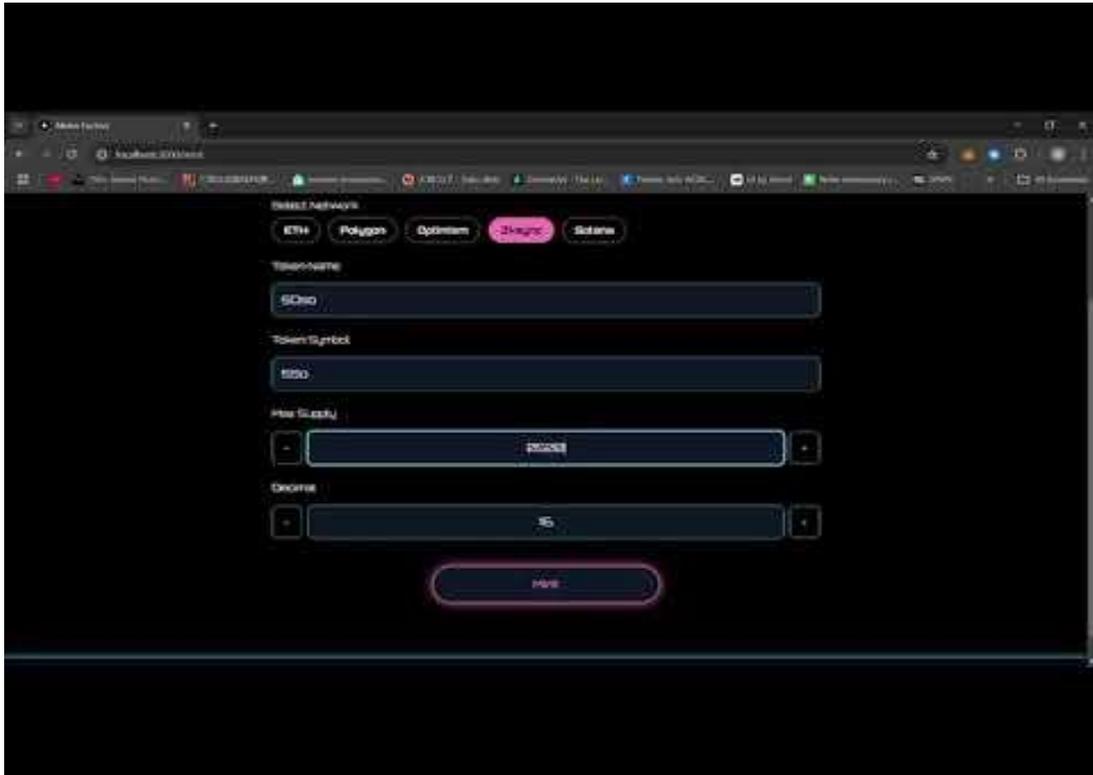
**発行後のマーケットメイク支援** : 当社が提供する流動性供給戦略により、CEX/DEXのリスティングをサポート

**トークンエコノミーの最適化** : 発行者向けにトークノミクス設計やマーケット形成の支援を実施

**NYANMARU Coinへの還元** : 本プロジェクトではミーム同士の連携強化を図ることを目指しており、発行数が増えれば増えるほど当社が力を入れるNYANMARU Coinエコシステムへの還元が増え、エコシステム全体の価値が向上

**AIエージェント搭載のDEX** : ブロックチェーンのオンチェーンデータだけではなく、そのアドレスに紐づくXやdiscordアカウントなどのソーシャルデータをAIに学習させ、AIエージェントによって運用が可能なDEXプラットフォームを作成

本プロダクトの最大の特徴は、単なるトークン発行ツールに留まらず、ミームコインの発行から市場形成、コミュニティ拡大までを包括的にサポートするBaaS（Blockchain as a Service）モデルである点です。



▲「Meme Factory」※動画もご覧ください！

なお、当社は発行体としてトークンを発行するのではなく、発行を希望するプロジェクトに対して支援を行う形となります。

これにより、法規制上の課題を回避しながら、より多くのプロジェクトに対して柔軟なサービス提供が可能となります。

## 2. BaaS支援第1弾：「少林文化DAO」について

当社のBaaS戦略の第一弾として、日本少林文化センターおよび少林寺コミュニティと連携し、「少林文化DAO」の形成支援およびトークノミクス設計を実施することを決定いたしました。

### (1) 少林文化DAOの概要

本プロジェクトは、少林寺の文化と哲学をグローバルに広めるための分散型自律組織（DAO）を構築し、持続可能なトークンエコノミーを形成することを目的としています。

**DAOのガバナンス**：少林文化の普及活動や資金調達に関する意思決定を、DAOコミュニティの投票によって行う

**少林トークンの発行**：DAO内での決済やガバナンス、報酬プログラムに活用

**NFTマーケットプレイスの開設**：少林寺に関連するデジタルアート、指南書、修行体験などをNFTとして提供

**メタバース構築**：仮想空間での修行・トレーニング・観光体験を可能にするプラットフォームを開発

## (2) GFAの支援内容

本プロジェクトにおいて、当社は以下の支援を行います。

1. DAO形成支援：少林文化コミュニティと日本少林文化センターが主導するDAOの組成支援
2. トークノミクス設計：トークンの発行戦略、流動性供給、ステーキング報酬プログラムの設計
3. マーケットメイク：DAO内の資金調達スキームの策定、および流動性提供の最適化
4. NFT・メタバースの開発支援：ブロックチェーン技術を活用し、デジタルコンテンツの展開を支援

## (3) ロードマップ

フェーズ1 (2025 Q1-Q2) ホワイトペーパー作成・トークン発行  
フェーズ2 (2025 Q2-Q3) CEX / DEX上場 流動性提供・マーケット形成  
フェーズ3 (2025 Q4 - 2026) NFT・メタバース展開 Web3市場との連携・NFT収益化  
フェーズ4 (2026~) リアル経済との統合 日本少林文化センターでのトークン活用

## 3. 今後の見通し

Meme Factoryのローンチは、当社のWEB3事業における重要なマイルストーンであり、当社のBaaS戦略の本格展開の第一歩となります。

Meme Factoryは段階的にローンチされ、今後支援するプロジェクトの成長や拡大時に応じて機能の拡充を図っていきます。

### 【2025年のロードマップ】

期間	主要アップデート
2025年Q1	Meme Factory α 版ローンチ
2025年Q2	MM機能/DEX付のβ版ローンチ
2025年Q3	Meme Factory正式版ローンチ 複数DAOの支援
2025年Q4	BaaSプラットフォームの拡張 CEX上場支援

当社は、今後もBaaS事業の拡大を通じて、WEB3市場の発展およびGFAの収益最大化を目指してまいります。なお、本件が当社の連結業績等に与える影響ありません。

市場環境の変化やプロジェクトの進展に応じて適宜情報の開示を行ってまいります。

### ■GFA株式会社について <https://www.gfa.co.jp/>

当社については、『最先端フィンテックで未来の金融を支える』をテーマにメタバースや金融事業を中心に、あらゆる顧客の資金需要を即時解決するとともに、SDGs を重視しながら、世界に存在意義のある事業の創造にコミットメントする会社を目指しています。

多分野に広がる当社のグループ企業のネットワークから、金融事業にフォーカスしたノウハウを集め、個人・法人問わず顧客ニーズに柔軟性ある確かな答えを提供してまいります。

以上